

日本映画名作選



時代を超えて読み継がれる児童文学・人気漫画の映画化
4作品を35ミリ・フィルム上映

あすなる物語



少年時代



風の又三郎 ガラスのmant



次郎物語

2023年 **1月14日 [土]**

あすなる物語 10:00 (11:48終了)
少年時代 14:00 (15:57終了)
風の又三郎 ガラスのmant 16:05 (17:52終了)
次郎物語 18:00 (19:50終了)

Cinema Talk

14日(土) 13:05~13:50

衛藤 賢史 氏
(古典芸能・映画論専門)

2023年 **1月15日 [日]**

あすなる物語 10:00 (11:48終了)
少年時代 13:00 (14:57終了)
風の又三郎 ガラスのmant 15:05 (16:52終了)
次郎物語 17:00 (18:50終了)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、両日も会場での軽食販売は行いません。

上映作品

あすなる物語

1955年(昭和30年) 白黒/スタンダード/1時間48分/制作:東宝
原作:井上靖/脚本:黒澤明/監督:堀川弘通
出演:久保賢、鹿島信哉、久保明、岡田茉莉子、根岸明美、久我美子 他

風の又三郎 ガラスのmant

1989年(平成元年) カラー/ビスタ/1時間47分/制作:朝日新聞社=東急エージェンシー=日本 Herald 映画
原作:宮沢賢治/脚本:筒井ともみ/脚本・監督:伊藤俊也
出演:早勢美里、檀ふみ、小林悠、草刈正雄、樹木希林、岸部一徳 他

次郎物語

1987年(昭和62年) カラー/ビスタ/1時間50分/制作:西友=学習研究社=キネマ東京
原作:下村湖人/脚本:井出雅人/監督:森川時久
出演:加藤剛、高橋恵子、伊勢将人、樋口剛嗣、山岡久乃、泉ピン子 他

少年時代

1990年(平成2年) カラー/ビスタ/1時間57分/制作:「少年時代」製作委員会
原作:柏原兵三、藤子不二雄A/脚本:山田太一/監督:篠田正浩【第64回キネマ旬報第2位】
出演:若下志麻、細川俊之、藤田哲也、大滝秀治、芦田伸介、大橋巨泉 他

コンパルホール 文化ホール 1F

1日鑑賞券 1,400円

<4作品鑑賞可/日にち指定販売/全席自由>

チケット発売:令和4年11月1日(火)~
前売チケット取扱:コンパルホール1階受付(販売時間9:00~17:00)
トキハ会館/エトウ南海堂/シネマ5

【お問い合わせ】コンパルホール 〒870-0021 大分市府内町1丁目5番38号
☎ 097-538-3700 (受付時間/9:00~17:00 ※休館日を除く)

【主催】コンパルホール/国立映画アーカイブ
【特別協力】文化庁/(社)日本映画製作者連盟/全国興行生活衛生同業組合連合会/
(株)松竹/大分県興行生活衛生同業組合/シネマ5

【後援】大分合同新聞社/NHK大分放送局/OBS大分放送/TOSテレビ大分/OAB大分朝日放送/エフエム大分/J.COM大分ケーブルテレコム/ふいんラヂオ局/月刊・シティ情報おいた

【鑑賞チケットについて】

●払い戻し、交換、再発券はいたしません。●1日通して全作品4本をご覧いただけます。(シネマトーク含む)●チケット記載の指定日に限り、チケット提示で再入場が可能です。(1枚で2日間をまたぐ利用はできません)●各日通してお一人様でご利用ください。複数人での使い回しはご遠慮願います。●定員に達した回は、ご入場をお断りすることがございます。お早目にご入場ください。●4歳から入場できます。年齢にかかわらずチケットはお一人様一枚ご用意ください。(車イス席は同額1,400円で各日限定4席)

【新型コロナウイルス感染拡大防止対策へのご理解・ご協力をお願い】

●館内に滞在中は、必ずマスクの着用をお願いします。「咳エチケット」「手指アルコール消毒」「検温」「チケットへの氏名・連絡先記入」等へご協力をお願いします。また、おしゃべりはできる限りお控えいただけます。●文化ホール内での飲食はご遠慮願います。(館内の食事スペースをご利用いただけます。※予定)●上記の他、コンパルホール感染防止対策については、公演チラシ裏面をご覧ください。チケットをお買い求めの際は、記載の注意事項をご覧ください。ご同意のうえでご購入ください。●今後の新型コロナウイルス感染状況によっては、内容変更や中止となる場合がございます。予めご了承ください。 詳細はチラシ裏面をご覧ください。

第11回 コンパルホール映画上映会 フィルムマラソン 日本映画名作選

時代を超えて読み継がれる児童文学の名作や人気漫画を、豊かな情感と奔放な想像力で映画化した作品を紹介します。昭和から平成にかけての名作4選を、35ミリ・フィルム上映でお楽しみください。

あすなろ物語

1955年（昭和30年）
東宝

白黒／スタンダード
1時間48分



スタッフ

原作 井上靖
脚本 黒澤明
監督 堀川弘通
撮影 山崎一雄
照明 石井長四郎
録音 下永尚
音楽 早坂文雄
美術 河東安英

出演者

鮎太（第一話） 久保賢 とみ 浦辺条子
鮎太（第二話） 鹿島信哉 玲子の母 村瀬幸子
鮎太（第三話） 久保明 鮎太の祖母 三好栄子
岡田茉莉子 医大の助手 江見 太刀川洋一
雪枝 根岸明美 竹内 高原駿雄
玲子 久我美子 教師 佐山 金子信雄
大学生 加島 木村功
住職 小堀誠

一人の少年が、複雑な人間関係の中で次第に成長していく様子を、絵（ひのき）に似ているが絵とは違い、明日は絵になろうと一生懸命になっている「あすなろ」という木に託して描いたものである。井上靖の自伝的要素の強い小説を映画化するにあたり、原作にある小学生と中学生時代のエピソードをそのままに、新たに高校生時代が加えられ、三話によるオムニバス構成になっている。これは長年黒澤明の助監督をつとめ、その後『裸の大將』（1958）や『黒い画集 あるサラリーマンの証言』（1960）など秀作を発表した堀川弘通が監督に昇進するのを記念して、黒澤自身が脚色したものである。堀川監督の叙情性だけでなく、黒澤の資質をうかがえる点でも貴重な作品である。

次郎物語

1987年（昭和62年）
西友＝学習研究社
＝キネマ東京

カラー／ビスタ
1時間50分



スタッフ

原作 下村湖人
脚本 井出雅人
監督 森川時久
撮影 山崎善弘
照明 加藤松作
録音 木村瑛二
音楽 さだまさし
美術 渡辺俊幸
金田克美

出演者

俊亮 加藤剛 おなか 山岡久乃
お民 高橋恵子 お浜 泉ピン子
次郎（10歳） 伊勢将人 祖母 大塚道子
次郎（6歳） 樋口剛嗣
喜さぶ 永島敏行
東医師 中谷一郎
宗太郎 高松英郎
勘作 井川比佐志
恭亮 芦田伸介

理想主義と自由主義を貫いた教育者、小説家として知られる下村湖人。その自伝的教養小説である同名原作は名作として名高く、本作までに3度映画化されている。1941年の島耕二監督作、1955年の清水宏監督作、1960年の野崎正郎監督作、いずれも佳作となっている。母が病弱のために里子に出されて成長した次郎は、親親のお浜を慕い両親の住む本家にもどっても家族になじまず、衝突をくり返す。旧家の格式を重んじる祖母はそんな次郎を嫌うのだった。ちょうどその頃、父が借金に保証人になったため家が没落し、母は実家に戻り病を癒すことになった。監督の森川時久はこの古典的名作を、当時の社会的な背景を押さえながら丁寧に描き直し、叙情的感銘を導きだしている。次郎が成長していく故郷、その田園風景の美しさと母を演じた高橋恵子の演技が印象的である。

風の又三郎

1989年（平成元年）
朝日新聞社
＝東急エージェンシー
＝日本ヘラルド映画

カラー／ビスタ
1時間47分



スタッフ

原作 宮沢賢治
監修 入沢康夫
脚本 筒井ともみ
脚本・監督 伊藤俊也
撮影 高間賢治
照明 安河内央之
録音 橋本泰夫
音楽 富田勲
美術 村木忍

出演者

かりん 早勢美里
かりんの母 檀ふみ
又三郎 小林悠
又三郎の父／ 草刈正雄
かりんの父 志賀淳二
一郎 志賀淳二
嘉助 雨笠利幸
悦治 宇田川大
おたね 樹木希林
かりんの祖父 内田朝雄
使いの男 岸部一徳
タバコ専売局の男 すまけい

宮沢賢治の同名原作は、1940年に島耕二監督の手で映画化されている。良質の叙情をたたえ、印象的な音楽もあいまって、その年度の「キネマ旬報」ベストテンの第3位にランクされた名作である。伊藤俊也監督のこの作品は、そのリメイクではあるが、随所に新しい創作がなされており、見事に平成版の〈又三郎〉となっている。母と二人暮らしの少女、かりんの前にあらわれた高田三郎は、二百十日の風の日に転校してきたために「風の又三郎」と呼ばれる。実際、彼が来てからは不思議なことの連続だった。東北地方の豊かな自然を背景にした、子供たちのより自然な演技は長期合宿による交流の成果である。冒頭のカメラの大胆な動きは、観客を一気にファンタジーの世界へと誘い込む魅力に満ちており、独自の視点で物語性に富んだ映像世界をつくりあげる伊藤監督の本領が発揮されている。

少年時代

1990年（平成2年）
「少年時代」製作委員会

カラー／ビスタ
1時間57分



スタッフ

原作 柏原兵三
脚本 藤子不二雄④
山田太一
監督 篠田正浩
撮影 鈴木達夫
照明 水野研一
録音 西崎英雄
音楽 池辺晋一郎
美術 木村威夫

出演者

風間静江 岩下志麻 田辺昭子 仙道敦子
風間修作 細川俊之 風間まき 鈴木光枝
風間進二 藤田哲也 増田先生 津村鷹志
大原武 堀岡裕二 風泊駅・駅長 大滝秀治
須藤健介 小日向範威 校長先生 芦田伸介
田辺太 山崎勝久 写真館の主人 大橋巨泉
佐佐美那子 小山篤子
風間辰男 河原崎長一郎
風間いげ 三田和代

学童疎開の体験を綴った作家・柏原兵三による自伝的小説「長い道」から着想を得て、藤子不二雄④自身の戦中体験を盛り込んだ漫画「少年時代」を、藤子④自らがプロデューサーとなって監督に篠田正浩を指名し、篠田の後輩にあたる山田太一を脚本に迎えて映画化した。「週刊少年マガジン」連載当初は読者からの反響も限られていたが、1979年の連載終了後に圧倒的な支持を受け、藤子④が長いあいだ心に温めていた企画である。東京から富山に疎開してきた小学5年生の進二と、地元のガキ大将・武との触れ合いを軸として、1944年の夏から終戦の夏へといたる季節の移り変わりを表す美しい映像とともに、少年たちの心の成長の様子を丹念に描き出している。逼迫する戦況や大人たちの姿はほとんど画面上から遠ざけられ、東京出身者と疎開先の少年たちを取り巻くざくざくした関係や、いじめ等が淡々と描かれる。やがて終戦が訪れて進二が東京に帰る日となり、みるみる小さくなってゆく汽車を必死になって追いかける武の姿で、少年たちの心のわだかまりも一気に解消される。主題歌にはロングセラーとなっている井上陽水の同名オリジナル曲、日本アカデミー賞・最優秀作品賞ほか受賞多数、「キネマ旬報」ベストテン第2位。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策へのご理解・ご協力をお願い

コンパルホールでは、(公社)全国公立文化施設協会作成のガイドラインに沿って、新型コロナウイルス感染拡大防止に十分配慮し公演を実施いたします。ご来場前に以下の項目をご確認いただき、ご承諾くださいますようお願いいたします。

- 【入場制限】以下に該当するお客様のご来場をお控えください。
- 平熱を超える発熱 ※平熱+0.5℃以上の発熱があると認められた際は、ご来場をお断りいたします。（発熱=37.5℃以上を目安とさせていただきます）
 - 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等の症状があるお客様
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とPCR検査で判定された者との濃厚接触があるお客様
 - 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触があるお客様
- 【ご来場のお客様へお願い】
- 館内に滞在中は、必ずマスクのご着用をお願いします。また館内での大声はお控えいただき、咳エチケットにご協力をお願いいたします。マスクを着用されていないお客様はご入場をお断りする場合がございます。
 - ご入場時に、検温をさせていただきます。アルコールで手指消毒をお願いします。
 - ※アルコールに対してアレルギーをお持ちの方は、来館時に係員へご相談ください。

- 基礎疾患をお持ちの方、妊娠中の方、未就学児童をお連れの方は関係機関の情報を参考にしてください。慎重なご判断をお願いいたします。
- 対面での会話は控え、社会的距離の確保に努めてください。また、館内での飲食はお控えください。
- ご入場時に氏名や連絡先を確認いたします。新型コロナウイルス感染症の感染発生が疑われる場合には、これらの情報が保健所等の公的機関へ提供される場合があります。
- スタッフにはマスクを着用し、可能な限り発声を控え、社会的距離を保ちながらのサービス提供とさせていただきますので、ご理解をお願いいたします。
- 館内は空調設備により機械的に換気しております。換気能力を維持するため、施設内の窓は閉鎖しております。
- クローカーサービスはいたしませんので、大きなお荷物のお持ち込みはお控えください。
- 出演者等への声援、プレゼントや差入、出待ち・入待ち等はお控えください。

最新情報はコンパルHPをチェック!



今後の新型コロナウイルス感染状況によっては、内容変更や中止となる可能性があります。予めご了承ください。